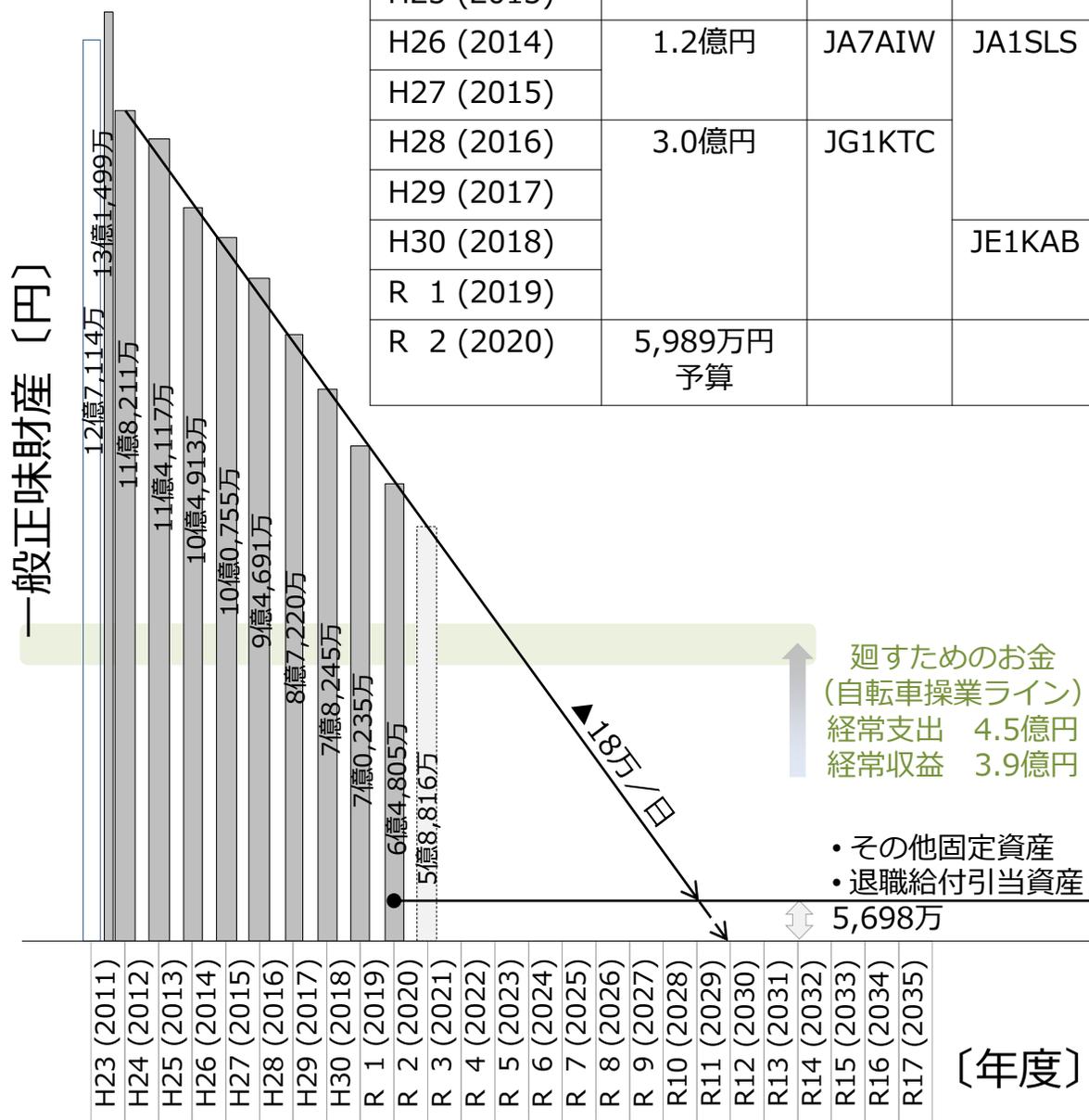


A. 『決算』について

【A.1】 現会長下での3億円の損失

現会長下で、連盟の財産を3.0億円も失ったことにつき、認識を確認したい。

年度	損失額	会長	専務理事
H23 (2011)	8,903万円	JA5MG	JE1KAB
H24 (2012)	1.3億円		
H25 (2013)		JA7AIW	JA1SLS
H26 (2014)	1.2億円		
H27 (2015)		JG1KTC	JE1KAB
H28 (2016)	3.0億円		
H29 (2017)			
H30 (2018)			
R 1 (2019)			
R 2 (2020)	5,989万円 予算		



一般社団法人化後の『一般正味財産』の推移

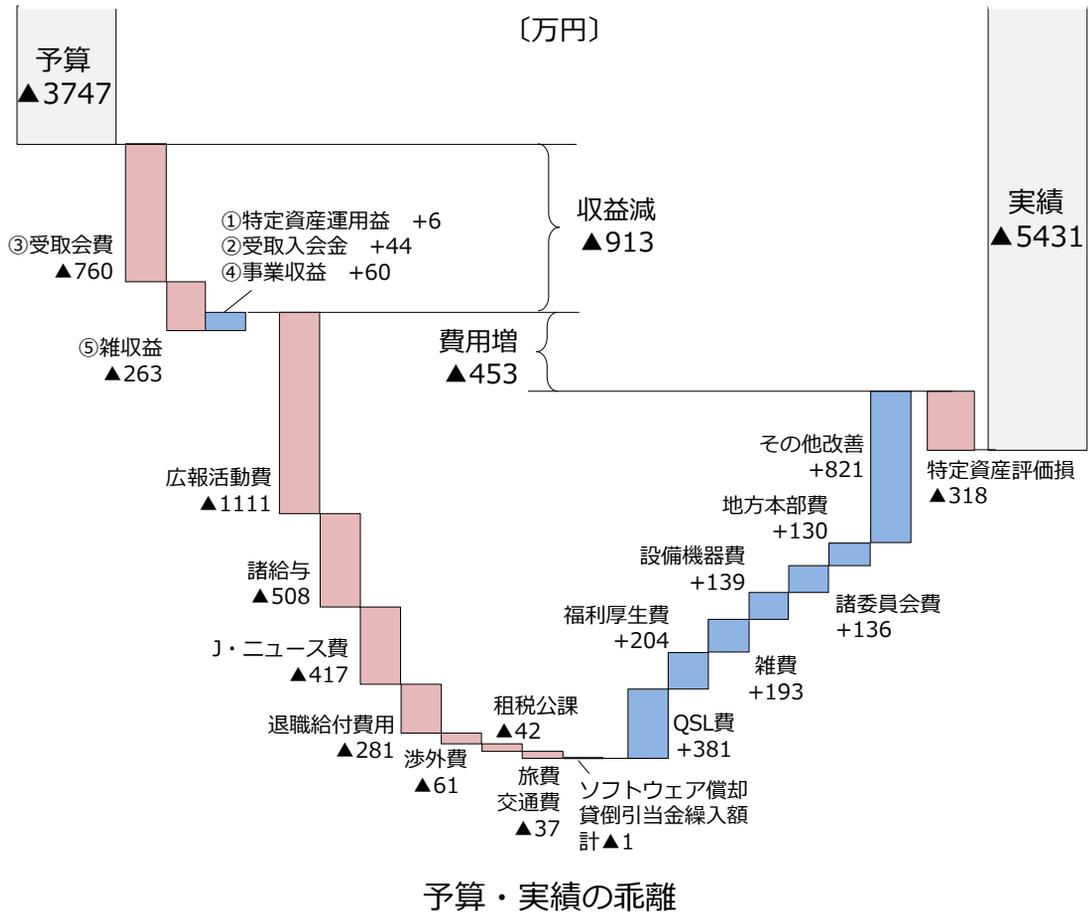
【A.2】「広報活動費」「J・ニュース費」の、予算大幅超過の効果と要因

各費目の予算との乖離は下図のとおりである。そこで、とくに以下の点について確認したい。

- ・ 広報活動費 (予算：4,417万円, 実績：5,528万円)
- ・ J・ニュース費 (予算：3,360万円, 実績：3,777万円)

のそれぞれについて、

- ・ その追加投入の定量的効果、
- ・ 費用増の要因 (具体的に)。



【A.3】「⑤雑収益」の予算未達・「資産評価損」の発生、の要因

前項と同様に、以下についてその要因を確認したい。

- ・ 「⑤雑収益」の予算未達 (予算：5,061万円, 実績：4,799万円)
- ・ 「特定資産評価損」の発生

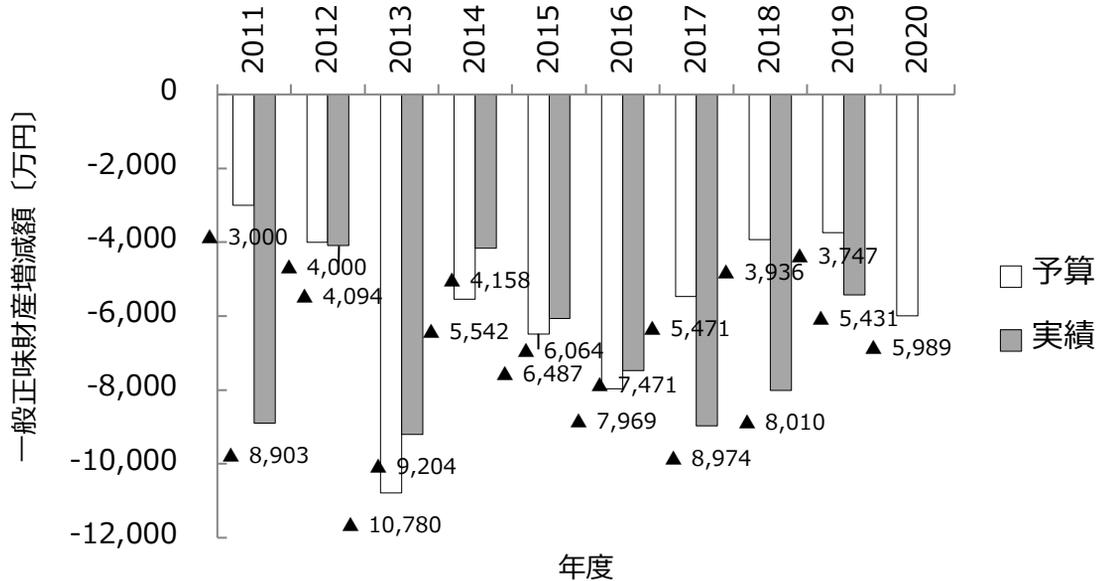
B. 『役員選任』について

【B.1】規則第26条ただし書き理事候補（候補者番号1）の適正

以下により、役員報酬 900万円に見合うだけの成果が出せておらず、不適と考えるが、どうか？

① 経営能力の不足

- かつて、「平成26年度には黒字化」の公約未達
- 専務理事・事務局長として、連盟の財産 5.3億円を喪失（2012～2019年度）
- この3年間、予算実績管理という経営の基本すらできていない



② 規律意識の不足

- 第49理事会（2020-02-22/23）において、電子QSL費1,579万円もの、予算外（理事会審議を経た予算の枠外）での手当を試行

③ 第47回理事会（2019-09-28/29）第2号議案の2『総務省への要望書の提出に関する規定』（毎年義務化）への、反対

- 「私は仕事をしません」宣言に等しい

④ 総務省への要望の遅滞

- 2017年度本会での、「赤間総務副大臣への要望書」の頭ごなしの否定
- 結局、2019年には要望書を提出
- その間、我々は2年という時間を浪費

⑤ 社員総会における虚偽答弁（2019年度、詳細後出）

- a. 局免切れ正員の大量存在に関し、「会員期間の変更の本人申し出は『定款』のさだめ」とした件
- b. 島根QSLビューローの表彰を「直近理事会で事後報告した」とした件

⑥ 第46回理事会（2019-06-23）の、ボイコット

C. 事業報告「4.(4) 広報活動」について

【C.1】自然災害時の情報発信不足（電話は途絶）

昨2019年度の本会において、
「国外に比べ、国内の災害を周知しないのはなぜか？」の準備書面質問に対し、
「電話は通じていた」との答弁であった。

しかしながら、その後の台風15号では「電話は途絶」したにもかかわらず、やはり、連盟は、なにもしなかった。

このような自己矛盾含みのみすぼらしい振る舞いでは、“災害時における寄与”は、もはや幻想ではないのか？

台風災害時の各組織の振る舞い

	台風15号	台風19号
連盟本部	—	—
関東地方本部	—	—
千葉県支部	—	○

- 15号
2019-09-05 関東通過
“令和元年房総半島台風”
- 19号
2019-10-12 関東通過
“令和元年東日本台風”

— … アクションなし、○ … アクションあり

【C.2】記念局の告知のまずさ（JN重複・Web遅れ）

以下のとおり、もはや末期的のように見える。抜本的な対策が必要なのではないか？

① JARL NEWS

おなじ情報を2か所に掲載：2020年春号p.9・p.39
（貴重な紙幅（≒会費）を無駄にしないでいただきたい）

② Web

掲載が開設に間に合っていない：

局	開設	Web掲載
8J5TOBE	3/1	3/19
8N1MOMO	3/1	なし (載る前にCOVID-19で運用終了)
8N1S・8J2TKI・8N2020S・8J4ROSE	4/1	4/2
8JOWA	5/1	未
8J3ML	6/1	未

③ 「開設期間の変更」について、一切告知なし：8J3L130S

- 「2019.9.1～12.31」 JARL NEWS夏号・CQ誌9月号FROM J.A.R.L. 告知
- 「2020.3.1～6.30」 実際

あるいは、「業務が飽和していて記念局の告知が追いつかない」のであれば、事務局として捌ききれる規模に、「JARLの記念局そのものを減らすこと」も考えるべきではないか？

とくにいまや、「連盟の特別行事」として奉るのに値するか」が疑問な、些細なローカルイベントを対象に、JARL特別局が乱立されている。「JARL以外の記念局」や「RL/YRL局の公開運用」への移行を視野に、抜本的な制度改正をすべきではないか？

【C.3】 選挙期間中の特定候補者に係る記事掲載

CQ ham radio誌2020年4月号（3月19日発売）に、会長——当時、理事候補として立候補し選挙運動中——へのインタビュー記事がある（pp.28-31）。

当該選挙における公平性の面から問題があると考えが、以下の三段階の防御策が、揃って機能しなかったのはなぜか？

- ① CQ ham radio誌としての、メディアとしての中立性
- ② 公益的団体のトップに足る、真に公明正大な器であるならば、当該時期の企画は、むしろ自ら辞退してしかるべき
- ③ 連盟が「監修」しているのだから、選挙期間中における該企画を差し止めることも可能

なお、以下の2点などについても、同様である。

a. JARL NEWS 2019年秋号

「わざわざ名義を際立たせた」QSLビューローの往訪記事、曰く（p.67 本文中から引用）

JARL会長 JG1KTC高尾義則による特別企画

b. JARL NEWS 特集&企画ダイジェストの2月3日公開

もともと、理事会で議論された際には公開せず、選挙期間直前になって急に公開

D. 事業報告「7. 国際協力の推進」について

【D.1】 記念局開設の海外連携不足（50IARU・STAYHOME）

つねづね日本だけ“みんなと遅れるワンテンポ”“蚊帳の外”になるのは、どうしてか？

- ① 50IARU——IARU Reg.3 50周年
2018-05-01 開始,
2018-07-17 日本でようやく8J50IARUを開設。
- ② STAYHOME——COVID-19対策でのStay (at) Home
2020-04-02 ARRL報道,
その後の判明分を含め、以下の各国で実施：
4J・4U・4X・5B・5W・9K・9V・A6・CE・CN・CT・CX・DU・E7・G・HA・HS・HZ・I・OD・OE・OH・ON・PA・PY・R・TC・VE・VK・VU・W・YB・YO・Z3など。

かたや、日本ではうごきなし。

基準上、8字サフィックス（STAYHOME）が得られないのであっても、国によってはA60SH・8A1HOMEなどと回避している例もある。

【D.2】 『ハムフェア2019アイボールパーティ』での各国来賓の処遇のまずさ

せつかくおいで下さった海外の連盟の重鎮（や日本の国会議員）を脇に差し置き、ジャンケン大会に興じるのではなくて、もっと相互に議論を交わすべき高優先の事項があるのではないか？（例：若手の勧誘策。）

E. 事業報告「以上のほか」について

【E.1】2019年度社員総会での虚偽答弁

昨年度の本会において、専務理事から以下の虚偽答弁があったと認められるが、どうか？

① 局免切れ正員の大量存在

答弁：「定款により、会員期間の変更は本人の申し出」.

実際：連盟の『定款』に、そのような定めは存在しない。
むしろ、定款上の定めは以下のとおりである：

7条(1) 正員 電波法に規定するアマチュア局の免許を有する者。
10条1項 正員であつてアマチュア局の免許を失つた者は、准員とする。

② 島根QSLビューローの勝手な表彰

答弁：「理事会で事後報告した」.

実際：(1) 当時の理事らの証言により、それは否定されている。

2019年度本会準備書面：p.110・p.118・p.126・p.144・p.152.

(2) 理事会において、「表彰規定に定める報告（6条2項）」がなされたのであれば、議事録に「報告した」旨の記録が残されてしかるべきである。
それが存在しない以上、「報告はされていない」と解せざるを得ない。

(3) そもそも、何かしらの対象を連盟として表彰したのであれば、その事実・該対象の功績を、広く会員に対して紹介すべきであるが、それが無い。

【E.2】局免切れ正員への投票用紙の送付

かねてから指摘しているように、局免切れの正員が大量に存在する（詳細後述）。これら、本来は選挙権を有していない6,000名にも、今回、投票用紙を送ったのか？

あわせて、「宛先不在で届かない投票用紙」についても、以下の2点につき確認したい：

- ① 事務局に返送されてくるはずだが、何通か？
- ② それはどのように処理されるのか？

【E.3】『局名録』：別人に再割り当ての、局免切れライフメンバーのコールサインの扱い 『JARL会員局名録』は、つぎのどちらの局を掲載する方針なのか？

- ・ ライフメンバーが連盟に登録し放置している、すでに「失効」したコールサイン
- ・ その再割り当てを受け、いま生きている、「実在」の局

仮に「前者」だとするならば、問題なのではないか？

- ・ 無関係な第三者が、「JARL会員」に見えてしまっている
- ・ 実在の局と住所も氏名も相違

なお、こういった例は（最低）34件観測できている。

- ・ 1エリア … https://jj1wtl.at.webry.info/201911/article_7.html
- ・ 2エリア … https://jj1wtl.at.webry.info/201911/article_3.html
- ・ 3エリア … https://jj1wtl.at.webry.info/201911/article_2.html
- ・ 6エリア … https://jj1wtl.at.webry.info/201911/article_2.html

【E.4】『電波法令抄録』：誤記

法令集が誤りを犯しているとは、いったい何事か？

とくに、2020年1月にパブリックコメントの募集対象となった告示について、その番号が誤っており、抄録上では見つけられない。かつ、本文も異なっている。

内 容	抄録では	正しくは	備考
占有周波数帯域幅	H26告示429	H21告示125	
ハムバンド	H26告示430	H21告示126	パブコメ対象
バンドプラン	H26告示432	H21告示179	パブコメ対象

本文の相違例（ハムバンド）

（抄録）

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）第十三条の二の規定に基づき、アマチュア局が動作することを許される周波数帯を次のように定め、平成二十七年一月五日から施行する。

（正規）

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）第十三条の二の規定に基づき、アマチュア局が動作することを許される周波数帯を次のように定め、平成二十一年三月三十日から施行する。

なお、昭和五十七年郵政省告示第二百八十号（アマチュア局が動作することを許される周波数帯を定める件）は、平成二十一年三月二十九日限り、廃止する。

本文の相違例（バンドプラン）

（抄録）

無線局運用規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十七号）第二百五十八条の二の規定に基づき、アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別を次のように定め、平成二十七年一月五日から施行する。

（正規）

無線局運用規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十七号）第二百五十八条の二の規定に基づき、アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別を次のように定め、平成二十一年三月三十日から施行する。

なお、平成十五年総務省告示第五百八号（アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別を定める件）は、平成二十一年三月二十九日限り、廃止する。

F. 『収支予算』について

【F.1】 会員増の見通し（総枠としての予算・実績管理を）

「無謀な会員増を前提としていない」意味で、2020年度の予算は、近年で最も蓋然性が高く、この点は評価する。過去の予算：

- 2019年度 … 1,000人の増が前提、
- 2018年度 … 4,000人の増が前提。

しかし、2019年度実績比で依然「400名相当の増」を前提としており、さらにCOVID-19による以下のような各種の負の影響もあり、達成は難しいのではないかと？

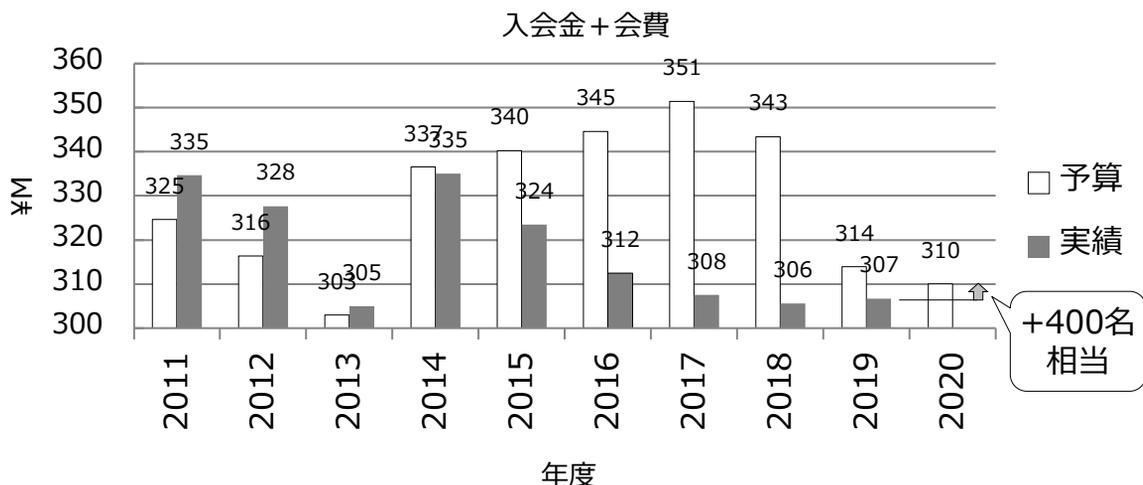
- 国家試験・養成課程講習会の中止による、ニューカマーの減
- 春～夏の勧誘イベントの減（KANHAM・各支部大会など）
- 会員自身の収入減による、継続会費の捻出難

くわえて以下のような「QSLビューローによらない交信の確認手段」の提供が国内外で拡大しつつあるが、これらの利用は非会員でも可能である。

- LoTW （無料、アワードへのクレジットには \$0.12/交信記録）
- OQRS （\$2～\$5程度/交信証）
- AirHamLog （無料、寄付受付）

7,200円あれば、13～32エンティティを確実に獲得可

このような厳しい環境下、「会費収入のマイナス相当分の支出を抑制し、予算に沿わせる」といった（しごく当たり前の）経営を期待する。



〔円〕 (除「換算」欄)	2019実績	2020予算		
		2019実績比		
		増減	換算	
入会金+会費	306,730,524	310,059,700	3,329,176	
受取入会金	2,666,000	2,500,000	▲ 166,000	
正員受取入会金	2,478,000	2,340,000	▲ 138,000	▲138名
准員受取入会金	188,000	160,000	▲ 28,000	▲28名
受取会費	304,064,524	307,559,700	3,495,176	
正員受取会費	288,718,578	291,865,100	3,146,522	+437名
家族会員受取会費	5,001,200	4,953,600	▲ 47,600	+7名
准員受取会費	6,124,746	6,241,000	116,254	+16名
賛助会員受取会費	4,220,000	4,500,000	280,000	+28口

社団局会費は本来10,800円だが、ここでは個人と一括して7,200円とみなした。

【F.2】『中期経営計画』の必要性

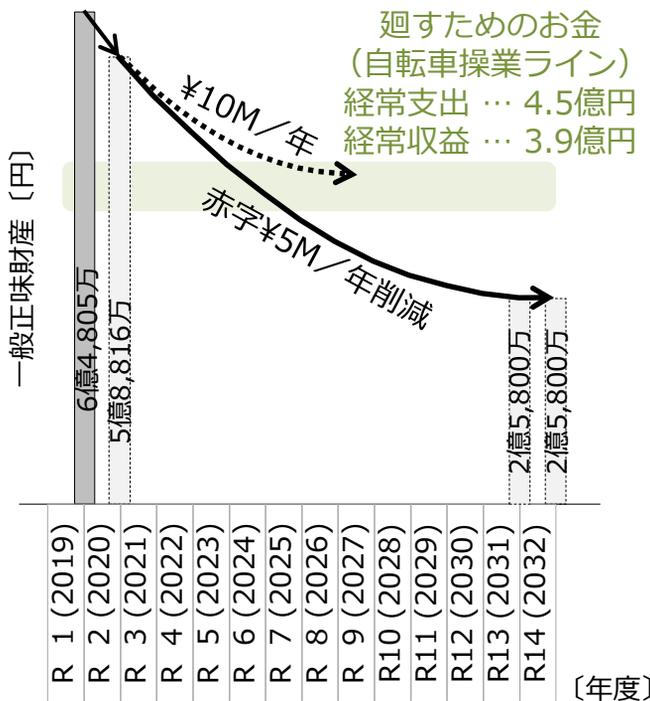
年々の“行き当たりばったり”の施策・経営ではなく、いまや『中期経営計画』を直ちに策定すべき段階ではないか？

今年度の「6,000万円／年」の赤字が、翌年度 途端にゼロになるはずはない。仮に「赤字額を500万円／年ずつ減らしていく」として、いまずぐ着手したとしても、

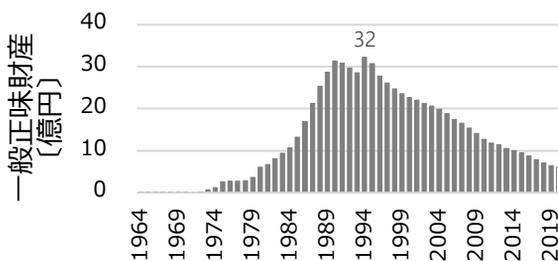
- ・ 収支均衡までには12年かかり、
- ・ その間、財産は2.6億円にまで減る。

あるいは「赤字削減 1,000万円／年」なら、同6年間・4.4億円となる。

仮に、執行側の方針が「お金がなくなるころに、事業を減らせばいいでしょう」であるとしても、それを考え始めなければならぬのは、「今」である。



年度	損失額	一般正味財産 (期末)
R 2 (2020)	5,989万円 予算	5億8,816万円
R 3 (2021)	5,500万円	5億3,300万円
R 4 (2022)	5,000万円	4億8,300万円
R 5 (2023)	4,500万円	4億3,800万円
R 6 (2024)	4,000万円	3億9,800万円
R 7 (2025)	3,500万円	3億6,300万円
R 8 (2026)	3,000万円	3億3,300万円
R 9 (2027)	2,500万円	3億0,800万円
R 10 (2028)	2,000万円	2億8,800万円
R 11 (2029)	1,500万円	2億7,300万円
R 12 (2030)	1,000万円	2億6,300万円
R 13 (2031)	500万円	2億5,800万円
R 14 (2032)	収支均衡	2億5,800万円



なお長期での推移は、左図のとおりである。

我々は、すでにピーク時の財産の79.9%を失っている（2019年度末時点）。

【F.3】株式会社でも一般社団法人でも、ともに赤字なら破綻

昨今の会長の主張として、「株式会社と一般社団法人は違う」——会員のために尽くすが一般社団法人である——が、ある。

しかしながら、「赤字だと潰れる」点は、どちらの法人格でも同じではないか？

G. 事業計画「2. アマチュア無線活動の推進」について

【G.1】連盟が開設する局の機能維持

COVID-19対策として、事務局の「特別体制」「来訪遠慮の要請」は当然である一方、中央局JA1RL（事務局に開設）の機能維持は不可欠と考える。そこで、とくに「遠隔操作」を目指そうとした場合の課題は何なのかを確認したい。（技術面？事務手続きの負荷？体制構築？）

同様に、その他の局についてはどうか？（地方局・補助局など。）

補足すると、以下のとおりである：

- ・ 「建物のセキュリティ上立ち入りが難しい（よって中央局は柔軟な運用不可）」というのが過去の答弁だが、
 - 遠隔操作ができれば、少なくとも運用委員による対応は可能。
 - 移転（2013年11月）から6年半の間、どのような交渉・調整・検討などを行ってきたのか？
 - 中央局を柔軟に運用できないのであれば、地方局・補助局での代替は、どのように考えているのか？
- ・ 『アマチュア局での非常通信マニュアル』でもJA1RLの“活躍”を訴求（p.4、ただし移転前）。であるならば、建物への立ち入り・到達が困難な状況においても、同局を稼働させられる状態にあることは重要。
- ・ ついでながら、2020年の「『電波の日』記念公開運用」については、以下の可能性・課題が残ると考える。
 - 『緊急事態宣言』の解除後のことであり、不可能ではなかった。
 - 仮に自粛継続という選択であったにしても、シングルオペレーターならば「三つの密」を回避可。
 - 毎年恒例の行事にもかかわらず、6月1日までに「今年はない」旨の事前のアナウンスなし。

【G.2】D-STAR以外のレピータ局の解禁

そろそろ、他方式にも目を向けてしかるべき時ではないか？

海外での類似方式の普及状況は下表のとおりである。このように、日本はすでに“ガラパゴス化”しつつある。

対象地域と情報源	アメリカ	全世界	
	ARRL 『On the Air』誌 (2020年3/4月号 pp.22-23)	Repeaterbook .com によるトラック分	Motorola Amateur Radio Club (DMR-MARC)
DMR (Digital Mobile Radio)	3,500局	3,255局	6,600局超
Fusion (C4FM)	1,500局	2,655局	
D-STAR	1,100局	2,427局	

【G.3】4630kHzの課題と、代替としての5MHz帯の獲得 【対総務省交渉】
和文電信が前提の前者においては、以下①のような課題が想起される。

このことから、電話での運用が可能な後者の獲得を、いっそう目指すべきではないか？

① 4630kHzの課題

- 電気通信術の試験の廃止（以下）で、電信の実運用スキルを有する免許人が減少
 - 送信…一・ニアマ：1988年，電信アマ：1985年
 - 受信…一アマ和文：1996年，一アマ欧文・ニアマ：2011年，三アマ：2005年
- 実際の運用設備を有する免許人の少なさ
 - 対応するトランシーバの保有
 - ・HF免許20.3万局中の，4.7万局だけ
（『無線局等情報検索』，2020-06-06）
 - 4630kHz対応のアンテナ
 - ・その4.7万局中の，おそらく，ごくわずか
- 通信相手たりうる官公署における，脱 電信のうごき

② 5MHz帯——5351.5～5366.5kHz——への期待

- 国際標準の周波数帯ゆえの，対応トランシーバーの充実
- 長時間に亘る良好な国内伝播
（ラジオNIKKEIが6MHz波を主使用としたのと同等）

【G.4】上位資格者の優遇策 【対総務省交渉】

以下の例のような施策を設ければ，上位資格取得へのモチベーションの向上につながり，結果，アマチュア無線家としての定着，ひいては連盟会員としての定着が期待できるのではないか？

- 資格別コールサイン
- 資格が判る一括記載コード（例：「1HA」「1HC」）
- 資格別バンドプラン

【G.5】ノード局の自局内通信の許容を 【対総務省交渉】

VoIPノード局の開設においては、「無線局免許を分けろ」という当局からの指導がある。その背景は、「通信の相手方」の「アマチュア局」というのは、「別のアマチュア局」であるべきだから——と理解している。

ところがたとえば『WIRES-Xノード局リスト2020年度版』

(<http://jq1yda.org/topics/wires/wiresnodelist2020v200.pdf>)によると、その433局の内訳は、下図のとおりである（『無線局等情報検索』，2020-06-03時点）。このように、個人が開設するノードの半数は、「1局のみの免許」である。

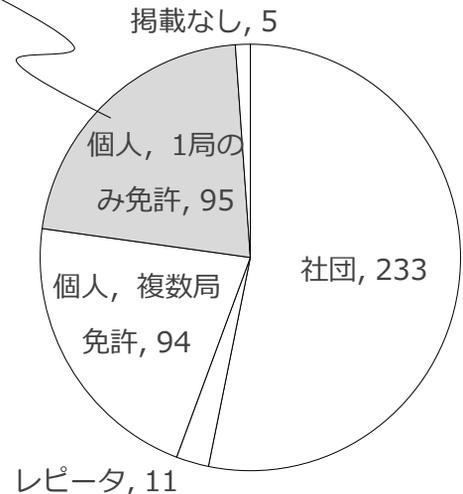
これすなわち、以下のいずれかである：

- ① 自身は、自身が開設したノードを用いない
- ② 自局内通信を強行している
(例：自局の第1送信機と第2送信機とで交信している)

これらのうち②は、当局の方針からして問題であるから、連盟としても何らかの指導が必要なのではないか？

(愚直に複数局の免許を下ろした免許人が、“正直者が馬鹿を見る”状態に置かれている。)

あるいはいっそ、「自局内通信を許容」するよう、当局と交渉すべきではないか？(法令の、上述部分の“解釈”だけの問題。)



ノード局の免許人 (WIRES-Xの例)

一方で、ドローンにおいては、下図のような「自局内通信」が咎めなく行われており、すでにノード局の場合とで、解釈・指導が矛盾している。



H. 事業計画「4.(1) 会員増強」について

【H.1】キャンペーンの実施前に過去の効果検証を

このさき各種の施策を打つのであれば、過去の類似例の効果を検証してからにすべきではないか？

たとえば、『会員期間1か月延長キャンペーン』があり、「会員期間を12ヶ月から13ヶ月に延ばすのに、2,000万円を使った」という会長の説明がある。しかしながら結果として以下のような状況ではないか：

- ・ 「期間を延ばしてもらった当の会員」における、認知度の低さ
- ・ 結果として、会員減
- ・ そもそも赤字の連盟において、2,000万円の減収は影響大

【H.2】「局免切れ会員（正員）」への対処

- ① 『定款』7条(1)違反である「局免切れ正員」への対処の進捗を確認したい。
現状は以下のとおりであり、状況は悪化の一途である。

調査時期	局免許の確認できない会員		詳細
		QSL転送不可会員 (≒ライフメンバー)	
2018-05/06	4,686名	2,798名	https://jj1wtl.at.webry.info/201806/article_1.html
2019-04/05	5,576名	3,356名	https://jj1wtl.at.webry.info/201905/article_1.html
2020-03	6,156名	3,799名	https://jj1wtl.at.webry.info/202003/article_8.html

- ② 昨年度の答弁については、下表のとおり反論する。

昨年度の答弁	反論
総務省の開示は市町村まで	・ 局免の「生き／死に」は判明
複数コールの所持者の存在	・ それは6,000名のうちの、ごくごくわずか
「生きているコールが別」の会員の存在	・ 会員登録そのものは、「生きているコールサイン」であるべき
「局免切れ→即一方的准員移行」は不可	・ 「リアルタイムで」とは言っていない ・ 長くても2週間程度の遅延で反映 ・ 過去2回は、本人の意向を確認し整理
要個別照会	・ 必要なら実施（：定款違反状態）
定款上、本人の申し出	・ 定款にそのような定めはない

- ③ 「本来であれば選挙権を有しない6,000名もの会員に投票用紙を送っている」ことは、さらに問題である（先述）。
④ 1・2・3・6エリアでは「ライフメンバーのコールサインが、まったく別の免許人に再割り当てされている」事例が実在する（先述）。
⑤ 過去の同様な調査から、8年もが経過、その間、問題を放置している。

調査時期	局免切れ会員	参考 JARL NEWS
2003年	6,504名	2003年11-12月号p.56
2012年	4,786名	2013年夏号p.28（#11理事会報告）

補：2020年の調査詳細

- ・ 2020年調査条件
 - 局免 … 『無線局等情報検索』の2020年3月7日付データ
(電波法25条に基づく公的公開情報、個人局のみ)
 - 会員 … jarl.comの『JARL会員検索』(2020年3月10～14日に実施)
(本人が希望すれば開示されない。
よって上述の数値が「過小」である可能性は残る。)
- ・ 2020年調査結果詳細
 - <http://motobayashi.net/callbook/ever/license-expired-jarl-regular-member202003.csv>
 - 会員部長・監事・選挙管理会には電子メールにて送付済み

【H.3】 IARUの「不要・不達のQSLカードの削減」への対応
「ビューロに送り込まれる不要・不達なQSLカードを削減しよう」(reduce the volume of unwanted and undeliverable QSL cards being introduced into the bureau system) という方針が、IARU——ある意味において上部団体——から、示されている。

IARU Resolution 18-1

<https://www.iaru.org/on-the-air/qsl-bureau/>

これに対する連盟の対応予定・方針は、どうなっているか？
SDGs (Sustainable Development Goals)への、資源および輸送負荷の削減による貢献としても、率先し推進すべきではないか？

I. 事業計画「4(3) ICTの活用」について

【I.1】『電子版JARL NEWS』全バックナンバーの「Flash」からの移行
今般、2020年末でFlashのサポートが終了するが、以下に示す一部の『電子版JARL NEWS』は、依然Flashのみで提供されているように見える。
これら残り各号のHTML5化のためのスケジュールはどうなっているか？

- 2019年冬号
- 2018年冬号
- 2015年春号 以前

無論「いつでも電子版を読める」前提のもとで、以下の会員が存在していることから、すべてのバックナンバーの移行が必須である。

- 「紙媒体JARL NEWSを契約してこなかった」ライフメンバー
 - 紙媒体JARL NEWSを処分してしまったそれ以外の会員
-

J. 過去の社員総会での提起事項 【意見】

以降の表に、これまでの準備書面が出された意見をまとめる。これらはけっして、「専務理事が流して答えて解決ずみ」というわけではない。

- 昨今、連盟の運営は輪を掛けて混迷の度合いを深め、目に余るものがある：
- 議長（会長）の独壇場（独擅場）と化した理事会
 - 効果検証なき行き当たりばったりの施策（PDCAを廻さない）
 - 選挙で個人情報不正使用しハガキを配っても、言い訳すればお咎めなし（選挙管理会は、名ばかりで独立性なく執行部のいいなり？）
 - 定款違反状態の放置（局免切れ正員の大量存在）
 - 裁判所の命令に従わない（会計帳簿閲覧謄写）

これらの正常化、および、“会長ファースト”でも“**いまの**会員ファースト”でもなく、真の“会員ファースト”による、将来展望を見据えた組織運営をお願いしたい。

凡例

- 左欄…分類
- 右欄…内容
- []…提案者のサフィックス、および、提案年の西暦下二桁
- 《》…その後の状況変化

社員総会提起事項

財政 (1/2)		
大枠	<ul style="list-style-type: none"> 将来性・存在意義[CTE16] 私物化・利権化しない運営[CTE16] 資料中の作表法：前年度「実績」と今年度予算との対比で [GXU14・EEH19] 不適切な決算処理：TSSへの和解金は特損扱いで経常外費用とすべき[NMT19] 	
財政健全化	<ul style="list-style-type: none"> 今後の展望（破綻しかねず）／財産が減少，運営に心せよ [LFV15・OEP15] 経営安定化・黒字化 [AAA16・ANO19・BCE16・IKD17・JOK16・LFV17・MYB16・QZN16・WTL16] 収益事業の模索を [EUJ19] 収支規模に見合った予算策定[AAA18] 財政健全化の目標年・黒字化計画の呈示[JOK17・IKD18] 中計（5年）の策定[HNN18] 経営専門委員会（CEO）・中期計画検討委員会の設置 [QZN16・VQA16] ライフメンバー制度移行の効果検証（経営は非改善） [JOK17] 	
地方本部・支部	<ul style="list-style-type: none"> 「地方本部」の予算報告を[RTS15] 地方本部費・支部費の管理の適正化（赤字解消への寄与） [FVX16・OJO17] 地方本部間の格差是正；会員一人あたりでみた支部費の格差～適正な格差範囲[LWP12・WTL15] 	
会費	増額	<ul style="list-style-type: none"> QSL発送費用増・消費増税[HGY15]
	減額（割引）	<ul style="list-style-type: none"> 青少年会費：助成金ではなく，会費メニュー化[BFA12・FFN16・WTL15・WTL16] 社団局会費（個人局との二重取り／登録クラブは日々貢献大） [CTE16・DSN16・DOR18・HNN16・PFW15・PFW16・THO19・WTL15] 社団局会費（登録クラブの） [PFW18・WTL18] 社団局会費（支部直轄の） [NC18・WTL16] 障害者[OEP12] 家族[DOR14] 学生（無償化または入会時一定額負担） [HNN18] 長期（「5年」メニューの新設～会員繋ぎ留め） [OED18・WTL16] 学校クラブの支援[HNN18] 会員数増ねらいで[CTE16]
収益事業	<ul style="list-style-type: none"> 検討・実施（受験対策，申請代行） [IOT18・JOK17] 養成課程講習会[IOT17・IOT18・PFW16] 	

財政 (2/2)	
支出「増」関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員のベースアップ（前回の消費増税で実質減給） [WTL15]
支出「減」関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『JARL NEWS』のアウトソース化^[IOT17] ・ 紙版『JARL NEWS』の有料化^[HHN18・WDL18] ・ 『補助局』の廃止^[WTL15] ・ JARL Webでの、支部行事の支部Webへの単純リンク化（事務局の負荷軽減～費用削減）^[WTL15] ・ （シルバー）人材の活用（例：事務局業務のアウトソース化）^[IOT18]

組織運営		
組織そのもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ JARDとの統合^[IKD17・IKD18・WTL16] ・ ライセンスフリー愛好家との統合：「日本無線連盟」^[CCD19] 	
運営法	<ul style="list-style-type: none"> ・ JARDとの連携（JARDは第三者通信・社会貢献制度・免許制度で提言）^[HBF19] 	
会員管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正員管理（例：2年に1回ほど総務省のデータで確認を）^[BCE15・WTL16] ・ 「局免切れ会員」の存在：4,686名（2018年）・5,576名（2019年）^[WTL18・WTL19] 	
規定整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「理事会決議」の「規定類」への織り込み（転送規定にはない、ARISSスクールコンタクトのQSLカード無償転送）^[WTL15] ・ 『電波法関係審査基準』のアマチュア無線関連部分の配布^[WTL16] 	
支部	支部大会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換を^[HHN16] ・ 決算・予算の報告を^[HHN16・HHN18] ・ 「景品での集客」は疑問^[HHN18]
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリア支部への移行：現在の支部体制になった1973(S48)年と会員規模が類似（1974(S49)年が5.8万会員）／支部長立候補なし8支部《2020年は福井のみ》／宮崎は支部長空席1年以上《解消》／空知留萌は全国唯一Webなし《2017年5月開設》／予算・活動を縮小の支部も^[ARW15・ARW16・WFM13・WTL15] ・ あるべき姿（財政健全化とは分離した議論の上で）^[OJO16] ・ 今後の支部長の不在化対策（組織改革：高齢化対応）^[ARW18] ・ 名ばかり役員の排除：会員～役員で連絡できる体制^[HHN19]
委員会	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録の開示^[RTS17・RTS18・RTS19] ・ 専門委員会の窓口設定^[DSN17] ・ 委員の推薦基準明確化・公募化^[EUJ18]
	監査指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ あり方:全国共通の監査指導（監査指導業務は定款上も定めあり、実態はガイダンス局の運用のみ）／該検討のその後^[KF16・NC17・BFA13・BFA16] ・ 監査指導員の活用（“名ばかり”も）^[HHN18]
広報	広報大使	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報大使：選定理由など^[EUJ19] ・ Radio JARL.com：目的・手法・水戸への交通費など^[EUJ19]

理事		
選任	否決	<ul style="list-style-type: none"> 多くの会員が選んだ候補を，少数の社員が否決^[DBQ13・FVX14・HIC15・STY13・WFM13] 制度上半端^[OJO17] 再発防止^[GXU13・VQA13(締切後着)・VQA14] 見直し検討の有無・内容・目標時期^[BCE14] 理事は選挙で即選任に（推薦理事・推薦監事は社員総会の決議）^[HIC12]
	投票法	<ul style="list-style-type: none"> 対象者のグループ分け：(1)投票で当選・(2)無投票当選・(3)理事会推薦^[GXU12] 記名投票化（写真撮影）^[GXU14・WFM14]
	条件	<ul style="list-style-type: none"> 学歴・経歴の提示の理由^[GXU12] 役員の資格等の，選挙管理委員会・理事会による確認（一般社団・一般財団法人法65条）／「反社会勢力と無関係」の旨の確認／利益相反関係の呈示（とくにJARDとの兼任者）^[GXU14]
	時期	<ul style="list-style-type: none"> 退任前の社員が次期の理事を選任：「新社員が新理事を選任」に^[DBQ13] 旧理事会の予算で新理事会が執行：地方本部理事2期連続，理事は2年ごと半数改選 などを^[GXU14]
推薦理事・監事		<ul style="list-style-type: none"> 選考過程（基準）～期待^[AAA16・WFM14] 謝罪：伏見氏推薦取りやめ～総会での虚偽答弁^[HBF19]
ただし書き地方本部長		<ul style="list-style-type: none"> 理事会への出席（地方本部・支部運営に支障）^[ARW16]
スキル		<ul style="list-style-type: none"> 一アマの取得：記念局運用時の自由度^[OEP16] 会員・役員の教育^[CCD19]
理事会		<ul style="list-style-type: none"> Hamvention（米）・Ham Radio（独）との日程競合回避^[WTL18・WTL19]
会長		<ul style="list-style-type: none"> 「会長OBは80歳超で名誉会員に社員総会に提案」に^[ARW18] （JG1KTCは）従わない者への拒絶があからさま^[HHN18]
参与		
選任		<ul style="list-style-type: none"> 高齢すぎ～順繰りな入れ替え（次世代の育成）を^[WTL15] 「経営」に強い方を^[WTL15]
社員総会		
運営		<ul style="list-style-type: none"> 議長の公正なふるまい^[HBF19] 採決法（明確化，事後検証の可能性）^[EEH19・HBF19]
準備書面		<ul style="list-style-type: none"> 『準備書面』さばき：事前に書面で質問～事前に書面で回答に^[HBF16] まずい引用の制限～事務局による削除許可／提出者による個人情報の記述の回避／ガイドライン作成・ひな形化^[OEP16・OEP17・OEP18]
傍聴者		<ul style="list-style-type: none"> 傍聴者の資料閲覧時の電子化^[DBQ13]
インターネット中継		<ul style="list-style-type: none"> インターネット中継（手が足りないならボランティアで）^[RTS16・WTL16・WTL17]

選挙制度	
全般	<ul style="list-style-type: none"> 現選挙制度に対する認識／それを検討する専門委員会の要否^[HBF16] 周知：Webのトピックスでも「選挙の告示」と^[HBF16]
社員	<p>公報</p> <ul style="list-style-type: none"> 投票／無投票での、当選者の個人情報開示の格差 <ul style="list-style-type: none"> ○投票のエリア…インターネット上に暴かれ ○無投票のエリア…なにもなし^[WTL15] 公報の様式規定の簡素化（印字位置合わせが負担）^[WTL18] 公報への顔写真掲載^[HHN18] <p>制度全般</p> <p>投票率の低さ～向上策^[PTK12・WFM13・WTL15]</p> <ul style="list-style-type: none"> 定数配分：「融通した先のエリア」で枠未達～ならば枠を関東に戻せ^[WTL15] 「支部ごと選出」の目的：支部長と社員とでは「ふさわしさ」は相違^[WFM13]

局運営	
中央局	<ul style="list-style-type: none"> 一般会員による運用を^[HHN17・HHN18・HHN19]
記念局	<ul style="list-style-type: none"> 根本見直し：規定からの乖離（「内輪の行事」が大半と化した特別記念局）／区分のわかりにくさ・無意味さ／総通への直接申請が可^[QH16・WTL15・WTL16] 管理の限界（周知などが追いついていない）^[WTL17] 申請の締切踏み倒しの常套化^[WTL15] 免許機材の嫌疑（社団局との設備共用は禁止）^[OEP16・WTL15・WTL16] 「クラブの記念局」は引き続きJARLで^[KCW18]
支部の局	<ul style="list-style-type: none"> 支部による無線機の管理運用（非常通信用）^[MUY19]
IARU HF Championship	<ul style="list-style-type: none"> HQ局の建て付け：「現地社団局のコールの変更」で開設手順の簡素化^[WTL15]
レピータ局	<ul style="list-style-type: none"> D-STAR以外のデジタルモード^[CCD18・CCD19・DFJ19・EUJ18・HHN19・IKD17・OIN17・OIN18・RTS17・RTS18・RTS19・WTL16] 管理団体の構成員の確認（例：再免許時に提出義務づけ）^[BCE15] 1200MHz帯レピータの新設^[HHN19]
ガイダンス局	<ul style="list-style-type: none"> 担当者名簿の整備／定期メンテナンス／メッセージの見直し／運用者の保護（保険・資格証明書など）^[KF16] ガイダンス局の設備更新（新スプリアス対応・F7W対応）^[ANO18・EEH19・EUJ17・EUJ18・EUJ19・OEP16・OEP17・WTL16] ガイダンスの見直し^[PFW18] 運用を^[ANO19]
全般	<ul style="list-style-type: none"> 使用フォネティクス^[EUJ18]

システム	
D-STAR	<ul style="list-style-type: none"> JARL方式/非JARL方式の一本化^[RTS18] 「最終アクセス一覧」への項目追加（日時・エリア・非常通信訓練中など）^[DSN18]

会員増施策		
勧誘 施策	全般	<ul style="list-style-type: none"> 期待する [OEP14] 予算投入で会員増強を [THO18] 会員増強策／減少の歯止め策 [ANO18・EEH18・LFV17] 局数減対策 [HHN18] 施策と成果との、コストパフォーマンスレシオ [AAA18・WTL18] “2022年の壁”対応（旧スプリアス規格機利用者の脱落防止） [WTL19] 広範囲への呼びかけの依頼 [MUY19]
	対象	<ul style="list-style-type: none"> カムバック組（相談受け） [STY14・HHN18] 新規開局者への近隣登録クラブの案内 [HHN18] 青少年 [STY14] ドローン愛好家、その際の語り方 [EUJ17・WTL17] ライセンスフリー愛好者 [CCD19]
	訴求法	<ul style="list-style-type: none"> アマチュア無線への勧誘策の見直し、毎年同じことの繰り返し～抜本的・有効な対策 [PTK12・BFA13・WTL16] 「連絡に便利」ではなく「アマチュア無線でしかできないこと」で [EUJ17]
	制度	<ul style="list-style-type: none"> SWLお試し入会の年齢制限緩和 [THO17] 安価な新会員制度 [IOT17]
広 報 案		<ul style="list-style-type: none"> イベントでの講演 [DSN15] 『JARL NEWS』余剰バックナンバーのPR配布 [DSN15] Webでの紹介（NHKマサカメTVのARISSスクールコンタクト、防災関連活動）《動画コンテンツ（ただしオリジナル）を用意》 [DSN15] 特集記事：高齢化で設備を撤去しても、小さな設備でも続けられる [DSN19]
	動画	<ul style="list-style-type: none"> YouTuber（インフルエンサー）との連携 [THO17] 外国語の交信例も（外国語教員の誘引） [THO18・THO19]
青 少 年 育 成	全般	<ul style="list-style-type: none"> 連盟の局による啓発 [BTS16・WTL16] 次世代育成施策・予算付与 [HCL16] 少年雑誌への広告 [FFN16] 子供が集まる場所での展示・運用 [HHN18] お試し入会后、継続しなかった人（62%）からの理由聴取 [HCL18] 青少年のための技術講習 [MUY19] ハムフェアで、引率の先生の入場無料 [MUY19]
	条件緩和	<ul style="list-style-type: none"> 『学校クラブ』の代表者・連絡者：「会員」はおろか「ハム」の先生すらもはや希少 [WTL17] 助成条件の緩和：登録クラブ→学校長推薦 [THO17]
	YOTA	<ul style="list-style-type: none"> 日本版への考え（何をしたいか） [EUJ18・THO18] 組織の位置づけ（内部/外部） [EUJ18] 成果説明（見えずらい） [EUJ18・HHN18・THO18]
	WAKAM ONOイ ベント	<ul style="list-style-type: none"> 東京以外での開催 [HCL19・EEH19] 効果検証 [EEH19] JARD連携 [EEH19]

会員サービス (1/2)		
そもそも論	<ul style="list-style-type: none"> 「会員メリット」を考えよ[JOK16・VQA15] 会員数維持のための施策（赤字によるサービス低下の危惧）[JOK16] 非会員と格差を[MUY19] 	
具体的施策	<ul style="list-style-type: none"> 再免許手続き支援（無料で）[HIC16] デジタルモードの申請の雛形の提供[EUJ19] 資格取得後の（知識の）フォローアップ[OEPE16] 事務局の業務時間の拡大[HHN19] 週末の連盟の窓口対応（会員増強施策としても；月1回でも）[BTS16・HHN18・LWP12・WTL16] 	
登録クラブ	<ul style="list-style-type: none"> クラブ規程との齟齬：連盟の周知事項が優先して受けられていない[RTS15・WTL15・WTL19] 	
JARL NEWS	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換の場の設定（あげます・ください）[DSN17] 	
QSL	電子化	<ul style="list-style-type: none"> 照合機能の実装，アワード発行とのリンク[AAA16・CFA17・HCL16・HCL17・KCW16・QH16・RTS14・WTL16] 会員の声に耳を（期待・目的など）[PHW18] LoTWへの連携（全世界のアワードに通用）[HHN18] 事業性評価[DFJ19・EUJ19・WTL19] 手法・計画[EEH19・HCL19・IKD19・PHW19]
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 転送コスト減[OIN18] ビューロー存続のための施策[CFA17] スキャンによる保存の許容[WTL15] 「記念局あて」などの廃棄（：負荷軽減，本来できないはずの「via 個人コール」での到着あり）[DSN18] “スパムQSL”対策[QH16・WTL15] 「会費値下げ+QSL転送従量制」に：半数の転送なし会員 vs 一部の1000~1500枚/月の会員 [DSN18]
アワード		<ul style="list-style-type: none"> 新アワードによる活性化（既存アワードの“上がり組”対策）[KCW16] LoTWでのJARLアワード発行（JCC/JCGほか）[HCL17・HCL18・HCL19・VQA18]
ハムフェア		<ul style="list-style-type: none"> 「女性無料」の効果測定[CCD18]
コンテスト	QSOパーティー	<ul style="list-style-type: none"> 期間延長[HHN18・HHN19・WTL18] 所要20局→10局化[RTS18] その後の検討状況[DFJ19・EUJ19・HHN19・RTS19・WTL19・有志21名19] 《コンテスト委で再検討》
	フィールドデー	<ul style="list-style-type: none"> 開催時間をもとどおりに：「18~12時」→「21~15時」[HBF18・HBF19・WDL18]
	全般	<ul style="list-style-type: none"> デジタルモードの追加（D-STAR以外も）[KCW16・LKB18] Twitterなどの利用の禁止化[WTL16] 新設（ローカル/マラソン）[DFJ19]
ARDF		<ul style="list-style-type: none"> 他団体への運営委託[NC17] 入門への契機に[KCW17] AEDの用意[DSN19] ARDFへの支援を[ANO19・DSN19]

会員サービス (2/2)	
ARISSスクール コンタクト	<ul style="list-style-type: none"> • QSLカード無償転送の廃止～別な形での支援：(1)「発送のみ無料」に青少年育成の意味希薄，(2)実態が“PTAがパイルアップを楽しむ場”化，(3)転送規定になし[WTL15]
モールス電信 技能認定	<ul style="list-style-type: none"> • 英文併記[WTL19]
8J1RL交信	<ul style="list-style-type: none"> • JA1RL絶対優先も，「コンディションが悪い場合」の対処法を[EJ18]
オリンピック	<ul style="list-style-type: none"> • アワード・コンテスト（対DX），公募企画[JNA19・VQA17]
Web 活用	<p>全般</p> <ul style="list-style-type: none"> • 改善：わかりやすく・迅速に（コンテスト結果を『トピックス』側でも告知／社員総会の開催周知）[HHN18・JNA16・WTL17] • 陳腐化と乱雑さの解消[WTL18] • 動画コンテンツ強化（電鍵はわかりやすさからは縦振れ，ワクワク感（RSGB比），効果測定，出演希望者公募）[EJ17] • 非常通信発生などの通達：Web更新の即応性の確保[OEP16・WTL16] • jarl.com割当容量増（現状5MB）[WTL15] • 支部などによる外部サイトの巻き取り：(1)セキュリティ面・(2)情報の散逸防止・(3)支部役員交代時の継承性[WTL15] • URLの短縮[WTL18]
	<p>掲載 希望 コン テン ツ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 歴代コンテスト結果[AXB16] • ARDF大会などの結果[JNA16] • 専門委員会の状況報告[DSN17] • 違反の具体的内容（総通発表の補足で法令遵守を啓蒙）[EJ17] • 電波障害対策（リンク集）[DSN16] • デジタルモードの諸元[JNA16] • 新スプリアス規格移行情報[JNA16] • 海外運用情報（未掲載国の記載追加など）[WTL17・WTL18] • 会員数[JNA16] • JARLのロゴデータ[VQA15] • 会員証のPDF化・アプリ化[EEH17] • コンテストにむけてのカウントダウン（開始まで・終了まで）[EJ18] • 局名録への掲載範囲の選択機能[EJ19]

監査指導		
法令上問題	免許切れ局	<ul style="list-style-type: none"> 『無線局等情報検索』で確認できない『QSOパーティー』への参加者[WTL16] D-STARへの登録[DSN18]
	その他全般	<ul style="list-style-type: none"> 行政処分者の頻出の解消[OEP16] 「従免あり」でも開局手続きを取らない（摘発報道）[EUJ18] テレビ・映画などでのアマチュア無線機の問題がある使い方の方の解消[OEP16] アマチュア無線免許所持者を優遇する求人広告[EUJ17] デジタルモードでの使用区分逸脱[OHZ18] 不法局の監視強化 [HHN19]
侵入電波（IARU Reg. 3連携）		<ul style="list-style-type: none"> 7.020MHz LSB 東南アジア系[EUJ17] 10m帯など[RTS17]
非常通信	運用	<ul style="list-style-type: none"> 「アマチュア局の非常通信」についての徹底（操作できる従免要）[EUJ17] 非常通信時の、連盟主導での周波数の確保（「非常通信周波数を知らない局」対策）[AAA16・MUY19] 国内での発災時の情報発信（海外だけではなく）[WTL19]
	非常通信周波数	<ul style="list-style-type: none"> 3535kHzのはみ出し[OEP16・OEP17] 28.20MHzのJARLビーコンとのかち合い[OEP16・OEP17]
局名録		<ul style="list-style-type: none"> 転売対策（禁止の明記）[EUJ17・EUJ19・OEP17] 回収策[OEP17]
その他	運用そのもの	<ul style="list-style-type: none"> 運用マナーの立て直し・向上・啓発[MUY19・PFW16・THO17・WTL16] デジタルモードでの過大な電力、過変調[OHZ18]
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得後のフォローアップ、自覚の植え付け[OEP15・OEP17] 上級資格取得の奨励（会員としての定着ねらい）[KCW17・OEP15] QSLカード記載の住所の転用禁止（例：政党広報誌の送付）[EUJ17]

対 総務省以外		
対 経産省	屋外高速PLC	<ul style="list-style-type: none"> 動向把握（オリンピックを契機にレギュラトリー・サンドボックス化）[NMT17・VQA17] 協調化[NMT17]
	その他	<ul style="list-style-type: none"> イミュニティ規格・エミッション規格[HIC16] 不要輻射問題：太陽光発電・LED[ANO19・CFA17]
対 メーカー		<ul style="list-style-type: none"> 安価なリグ：青少年用に[LKC16]
対 養成課程講習会実施機関		<ul style="list-style-type: none"> 時間・内容・費用の見直し：開局者の質の低下対策（コールサインを言わない、「電波利用料を返せ」とすら）[PFW16]
対 PTA		<ul style="list-style-type: none"> 「受験勉強への影響の危惧」の払拭[LKC16]
対 日本無線協会		<ul style="list-style-type: none"> 点身障者むけの受験が可であることのPR：点字（一・二アマ）、口述（三・四アマ）[EUJ18] 三・四アマへの点字受験の追加[EUJ18]

対 総務省		
規制緩和	<ul style="list-style-type: none"> 「移動する局／しない局」の一本化^[IKD19・OEP12・WTL16] 移動局の増力^[WTL16] レピータの免許人（現状は連盟のみ）^[IKD17・WTL15] 補助中継回線：現状は、(1) 29MHzレピータの送受点間リンク・(2) D-STARのアシスト局間のみ^[WTL15] 自局内通信：「ノード局の別免許化」を不要に^[WTL18] 	
免許手続きの簡素化	<ul style="list-style-type: none"> 包括指定／免許手続きの簡素化《免許証票は廃止・デジタルモードは手続き簡素化》^[ARW15・ARW16・BFA16・EUJ18・HHN18・IKD19・OPC13・VQA16・WTL16] 	
新スプリアス規格	<ul style="list-style-type: none"> 緩和：諸外国では例なし・業務局と同等の規格^[HBF18] 200W以下・30MHz以下なら、-50dBm→-43dBmに^[HHN18] 	
バンド拡大・新バンド	<ul style="list-style-type: none"> 5MHz帯の獲得^[DFJ19・IKD19・WTL16] 1200MHz帯での引き下がりとのバスターで^[HBF18] 	
バンドプラン	<ul style="list-style-type: none"> VoIPへの割当拡大（ノード数増でQRM）^[MUY19] 非常通信周波数の規定（「DV」以外のデジタルもあり）^[MUY19] 5.6GHz帯でドローンの需要に対応^[WTL17] 	
レシプロ	双方向	<ul style="list-style-type: none"> CEPT T/R 61-01締結^[IKD19・WTL17]
	アウトバンド	<ul style="list-style-type: none"> レシプロ締結先での制限緩和（例：米国での148MHzまでの許容）^[WTL17]
	インバンド	<ul style="list-style-type: none"> 『アマチュア局の無線設備の操作のための登録証明書』の廃止^[WTL17]
ラグビーワールドカップ／オリンピック	<ul style="list-style-type: none"> 訪日客の短期運用^[DND16・HHN18] 記念局の、レシプロ対象国外への運用者の拡大^[EUJ17・EUJ19・HHN18・OEP16・OEP17] 個人用特別コール^[HHN18] 	
新制度	<ul style="list-style-type: none"> 『電波利用料』の連盟での利用（ガイダンス局の整備などに）^[WTL16] バニティコール^[DSN16・WFM14] 資格別コールサインの導入^[WTL19] 一アマの養成課程講習会^[OEP12] 	
電磁環境	<ul style="list-style-type: none"> 外来ノイズなどの抑止^[ANO18] 	

一応の解決／一過性 (R1(2019)年 1/2)		
経営	H30 決算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現会長下での「2億円超」の損失^[WTL19] ・ 大幅赤字の責任^[WTL19] ・ いつ黒字化? ^[IKD19] ・ 赤字の減少は退職者によるもの^[HBF19・WDL19] ・ 身の丈に合った執行か^[WDL19] ・ 出展協力金の費用対効果：会員増強視点（青少年のための科学の祭典全国大会）^[EUJ19] ・ 国際協力費の増（134万円）^[HCL19] ・ 会費3年豊前納者への積立金の取り崩し（各年度への期間配分）^[EEH19] ・ 決算報告での「ハムフェア」「QSL転送手数料」の独立科目化^[NMT19]《R1決算で呈示》
	R1予 算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「正味財産期末残高」が、「2019年度末の予算値」≠「2018年度末の実績値」^[WTL19] ・ H30年度期末 対 R1年度期首でズレ^[EEH19] ・ 会員増の進捗確認（予算上は1,100名増／当年度）^[WTL19] ・ 予算の実現見通し^[WTL19] ・ 受取利息の予算の精査^[EEH19]
	財務	<ul style="list-style-type: none"> ・ QSL転送の有償化・受益者負担化・ステッカー化^[CFA17・DSN19・HHN18] [システムの構築でかえって高額になりかねず] ・ 『局名録』付録の再免許用紙の廃止^[WTL16]《2020-2021年版では消滅》
理事会		<ul style="list-style-type: none"> ・ 提携サービスについての理事会での議論の内容（引越料金・通信講座・家電製品の割引など）^[DFJ19] ・ 異常な理事会運営^[QKY19・WTL19] ・ オンライン化^[OJO18]《COVID-19対応で実績》
JG1KTC・ JE1KAB理事 解任		<ul style="list-style-type: none"> ・ 反論文書そのものの位置づけ^[EEH19・FFN19・EUJ19・HBF19・PHW19・QZN19・WTL19・有志21名19] ・ 当事者ら以外の一部理事だけの賛同^[WTL19] ・ 根本矛盾：「赤字で困ってます、しかしサービスのレベルは下げません」^[WTL19] ・ 「無借金なのだから健全経営・健全運営」^[EUJ19・WTL19] ・ TSSとの不明朗な和解^[WTL19] ・ 「2014年度に収支均衡化」のはずが、5年延ばしても未達成^[WTL19] ・ 「「小中学生による第三者通信」（赤間総務副大臣への要望書）の、頭ごなしの否定^[WTL19] ・ 「自身で立てた予算」を「自身で実行できない」という、経営力のなさ^[WTL19] ・ 追い詰められた環境下にもかかわらず、闇雲に「会員増」に盲進し、実際「会員は増えていない」という事実^[HBF19・WTL19] ・ 森田理事・原理事による役職詐称^[WTL19] ・ 予算大幅超過下での補正予算の必要性^[WTL19] ・ 赤字の追認（内部留保の取崩額は減ったが、どう測っても赤字）^[WTL19] ・ 「破綻しない」根拠の開示^[WTL19] ・ なにがなんでも存続が必要な理由はない^[WTL19] ・ 14,000局は「廃局」ではなく「差分」^[WTL19] ・ 実態は減っている会員数（局免切れ会員の存在）^[WTL19] ・ 「役立つイベント」の中身の実態（支部大会での踊り・ジャンケン大会）^[WTL19] ・ 「QSLビューローの表彰」の隠匿^[WTL19] ・ 「QSLビューローの表彰」の理事会での事前承認の必要性^[WTL19] ・ 反対意見表明についての理事の職務の執行の監査^[HBF19] ・ 理事の責務としての各理事の見解の確認^[FFN19・HBF19・有志21名19] ・ 当事者ではないのに賛同した副会長の所感の確認^[EEF19・HBF19・有志21名19] ・ 質問書に未回答の理事の意見の確認^[有志21名19]
運営		<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な取り組みを評価^[FVX19] ・ 関東地方本部長JH1XUPによる不適切な支出の顛末・今後の対応^[FVX19] ・ 関東地方本部長：会員の意見に耳（目）を（メール読んで）^[JL1HHN]《本部長交替》 ・ 「アマチュア無線活動の推進」とは？^[HHN19] ・ 「高齢者の社会参加促進」とは？^[HHN19]
組織		<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職職員採用・任命の、理事会での審議対象^[QKY19] ・ 『会員増強組織強化委員会』のメンバの選出根拠^[HHN19]
レピータ局		<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理団体の構成員名簿の提出廃止^[DFJ19] ・ 電波利用料の5年分前納の見直し^[DFJ19] ・ 装置の技適化^[DFJ19] ・ 災害時の設置場所からの移設の可否^[CCD19] ・ 可搬型レピータの有無と実績（災害時）^[CCD19] ・ D-STAR（サーバ）の有料化^[MUY19] ・ 今後の方向性そのもの^[SOK19]
コンテスト		<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時のコンテストの中止（6m & Downに平成30年7月豪雨）^[CCD19] ・ 『2018 IARU HF Championship』への対応のまずさ：モード放棄・ログ消失^[WTL19]
衛星		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高軌道衛星^[THO19]

一応の解決／一過性 (R1(2019)年 2/2)									
会員サービス	<ul style="list-style-type: none"> 「女性ハムの支援活動」の成果[CCD19] LGBTへの取り組み[CCD19] カムバックハムへの働きかけの内容[DFJ19] 								
会員増強	<ul style="list-style-type: none"> 会員数の増減：アメリカとの違い[HBF19] 会員の組織率[HBF19] 地方広域ハムフェアの、さらなる活性化・開催地の拡大[FFN16] 《2018.3「東北」・2021.3「四国」実施》 								
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 会員増強・広報活動：無線に関係ないイベントで配布するパンフレット[MUY19] 矛盾：Radio JARL.com (“多くのリスナーがいる”) vs JARL NEWSのWeb提供 (“利用率は低い”) [HBF19] 「篠山市」のJCC番号と指定基準の各変更の周知順・周知法[WTL19] 会長の水戸までの交通費（実費支出）[PHW19] JARL Webでの『ふじ3号』運用情報[PHW18] 《ページあり》 総通のWebとの矛盾解消（局免携帯の要否）[WTL17・WTL18] →「局免：常置場所」「コピー：移動先」《消滅》 								
個人情報管理	<table border="1"> <tr> <td>事務局での問い合わせへの対応</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 会員が会員の住所を問い合わせた場合[EUJ19] </td> </tr> </table>	事務局での問い合わせへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 会員が会員の住所を問い合わせた場合[EUJ19] 						
事務局での問い合わせへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 会員が会員の住所を問い合わせた場合[EUJ19] 								
監査指導	<ul style="list-style-type: none"> 3.5MHzローカルルール（3kHzステップ運用）[QKY19] “3553kHz音楽放送局”対策[OEP16・WTL16] 《北海道局については摘発、その後ほかの局も沈静化》 AIによるQSO（アイコムからAIスピーカーが登場：空想でなくなりつつあり）[CCD19] 								
青少年育成	<table border="1"> <tr> <td>会費助成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援対象年齢の拡大（例：30歳未満）[HNN18・PHW18・PHW19] [金銭的に厳しい学生まで] </td> </tr> <tr> <td>若者むけイベント</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果[THO19] JARD「ビギナーズセミナーへの協力」の内容[IKD19] NTTへの協力依頼；『ニコニコ超会議2019』で『モールズ特訓教室』の実績[DSN19] </td> </tr> <tr> <td>8J1RL交信</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> JA1RLを優先させすぎ[EUJ19] コントロールOPの資質（ジュリエ「イ」ト）[EUJ19] JA1RL運営委員[EUJ19] </td> </tr> <tr> <td>YOTA</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> YOTA-JAPANとの関係[EUJ19] YOTA旗 [EUJ19] 昨2018年度は派遣しなかった理由[HCL19] </td> </tr> </table>	会費助成	<ul style="list-style-type: none"> 支援対象年齢の拡大（例：30歳未満）[HNN18・PHW18・PHW19] [金銭的に厳しい学生まで] 	若者むけイベント	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果[THO19] JARD「ビギナーズセミナーへの協力」の内容[IKD19] NTTへの協力依頼；『ニコニコ超会議2019』で『モールズ特訓教室』の実績[DSN19] 	8J1RL交信	<ul style="list-style-type: none"> JA1RLを優先させすぎ[EUJ19] コントロールOPの資質（ジュリエ「イ」ト）[EUJ19] JA1RL運営委員[EUJ19] 	YOTA	<ul style="list-style-type: none"> YOTA-JAPANとの関係[EUJ19] YOTA旗 [EUJ19] 昨2018年度は派遣しなかった理由[HCL19]
会費助成	<ul style="list-style-type: none"> 支援対象年齢の拡大（例：30歳未満）[HNN18・PHW18・PHW19] [金銭的に厳しい学生まで] 								
若者むけイベント	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果[THO19] JARD「ビギナーズセミナーへの協力」の内容[IKD19] NTTへの協力依頼；『ニコニコ超会議2019』で『モールズ特訓教室』の実績[DSN19] 								
8J1RL交信	<ul style="list-style-type: none"> JA1RLを優先させすぎ[EUJ19] コントロールOPの資質（ジュリエ「イ」ト）[EUJ19] JA1RL運営委員[EUJ19] 								
YOTA	<ul style="list-style-type: none"> YOTA-JAPANとの関係[EUJ19] YOTA旗 [EUJ19] 昨2018年度は派遣しなかった理由[HCL19] 								
『移動運用セミナー』	<ul style="list-style-type: none"> JARLの「後援」の真偽・可否[EUJ19・WTL19・有志21名19] Radio JARL.comでの公私混同的扱い[有志21名19] 関係職員の参加[EUJ19] 								
災害時	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の連絡体制（全国組織化）、非常通信ネットワーク（広域）の構築[HNN19・MUY19] 支部による無線機の管理運用[MUY19] 								
ラグビーワールドカップ／オリンピック	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック準備状況（記念局（とくに対DX）など）[DND16・DND17・DSN19・EUJ19・JNA19・VQA14] オリンピック記念局の設置場所の早期確保（選手村・競技場）[EUJ17・OEP16・OEP17] 								
そもそも論	<ul style="list-style-type: none"> HAM friendship（いがみ合わない）[CCD19] 								
対 総務省	<ul style="list-style-type: none"> PLCのパブコメ方針[HBF19] パブコメ不提出[EUJ19・WTL19・有志21名19] 「OTHレーダー」対策[WTL19] デジタルモードの手続き簡素化：「関東総通自発対処」以外への取り組み[EUJ19・JNA19・PHW18] 《2020年4月実現》 200W超の扱いの決定[DFJ19・HNN18・OHZ18] 《2020年4月実現》 160m・80m帯の拡大[DFJ19・DND16・IKD18・IKD19・OEP12・VQA15・VQA17] 《2020年4月実現》 ハーモナイゼーション／JT65対応のためのバンド拡張・使用区分修正[DND12・LKB18・WTL16] 《2020年4月実現》 第三者通信[CCD18・CCD19・WTL18] 《体験臨時局として2020年4月実現》 								

過去の「一応の解決／一過性」事項については、各年の準備書面をご参照。
R1年pp.45-46, H30年pp.19-20, H29年pp.24-29.

数値の開示 ～R1(2019)年	
金額	<ul style="list-style-type: none"> ・赤字総額（新法人移行後）[MYB16] ・赤字額（H23）[GXU12] ・H28決算予想[MYB16] ・会員増強キャンペーン結果（「200万円かけて66名の増」との分析もあり）[BCE16・DOR16・JOK16・MYB16] ・ハムフェア：収支[DOR18] ・青少年お試し入会キャンペーン結果[JOK17] ・消費増税の影響[WTL15] ・『雑収入』の内訳：膨らんでいる[BFA16] ・TSS・アグレックスへの支払額[DOR14・DOR15・DOR16・VQA14] ・アグレックスへの支払額[DOR18] ・会費中のQSL転送費の割合、転送費の内訳[WFM13] ・職員の平均給与[DBQ12] ・1枚あたりQSL転送費用[CFA17] ・QSL費（7.6円/枚）の内訳[OIN18] ・電子QSL検討（なし（委員会経費のみ）@H30年度、300万円@R1年度）[PHW19] ・広報大使コスト（実費数万円）[HBF19] ・原元会長寄付金（30万円、雑収入扱い）[HBF19]
件数	<ul style="list-style-type: none"> ・会費助成の件数[BFA12] ・賛助会員の口数の分布[ACV13] ・ハムフェア：学校登録クラブの出展料半額助成件数[DOR18]
人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフメンバー移行状況、目標比[ACV15・LFV14・VQA14] ・QSLカードの発送状況・発送法[HCL16] ・QSL転送の実利用者数、うち前納会員数[WFM13] ・QSL転送を（有料で）利用する前納会員の見込み、目標達成率[DSN14・VQA13(締切後着)・WFM13] ・ライフメンバーの7,200円の会員数／正員の7,200円の会員数[RTS14] ・制度変更時の退会者数[LFV14] ・会員増/減の詳細[JOK16・RTS18] ・ライフメンバー会員数[JOK16] ・18歳未満の入会数[LFV14] ・職員数・賞与引当金の対象人数[DBQ12] ・ライフメンバー中のQSL転送利用者増[AXB17] ・『青少年お試し入会キャンペーン』による入会者数[HHN17]